

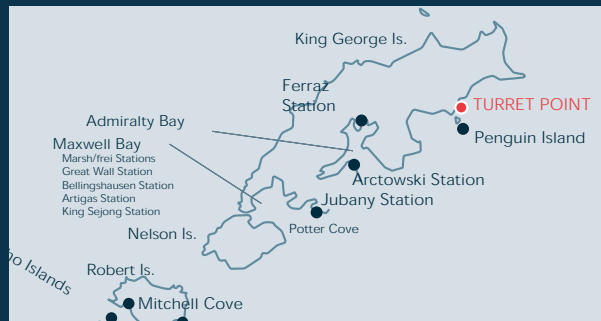


Turret Point

南緯62度05分 西経57度55分 - キングジョージ島の東端

主な特徴

- オオフルマカモメ
- ズグロムナジロヒメウ
- ヒゲペンギンとアデリーペンギン
- ミナミゾウアザラシ
- 氷河アウトウォッシュ平原



概要

地形	Turret Pointは、人目を引く岩柱が特徴で、Three Sisters Pointの西方、キングジョージ湾の東端を形成する。南岸に礫浜が、内陸部に融水がたまった湖がある。海岸は、クレバスのある広範囲な氷河へ向かってなだらかに傾斜している。
動物相	繁殖が確認されている種：アデリーペンギン (<i>Pygoscelis adeliae</i>)、ヒゲペンギン (<i>Pygoscelis antarctica</i>)、オオフルマカモメ (<i>Macronectes giganteus</i>)、ミナミオオセグロカモメ (<i>Larus dominicanus</i>)、ズグロムナジロヒメウ (<i>Phalacrocorax atriceps</i>)、ナンキョクアジサシ (<i>Sterna vittata</i>)。 繁殖の可能性のある種：ナンキョクオオトウゾクカモメ (<i>Catharacta</i> spp.)、サヤハシチドリ (<i>Chionis alba</i>)。 定期的上陸、遊泳：ミナミゾウアザラシ (<i>Mirounga leonina</i>)、ウェッデルアザラシ (<i>Leptonychotes weddelli</i>)、ナンキョクアザラシ (<i>Arctocephalus gazelle</i>)。
植物相	コケ類の繁茂地、アカサビゴケ種、ダイダイゴケ種、およびその他の地衣類。

訪問者の影響

既知の影響	なし
潜在的影響	氷河への経路上の植生の踏みつけ、野生生物への攪乱、とくにオオフルマカモメ。

上陸要件

船舶*	乗客200名以下の船舶。1度に1隻の船舶に限る。1日あたり（午前0時から翌午前0時まで）2隻以内とする。
訪問者	探検ガイドとリーダーを別にして、上陸は1度に100名以内とする。訪問者20名あたりガイド1名。22時から4時（現地時間）の間は上陸できない。これは野生生物の休息時間確保のためである。

訪問者用地区

上陸地区	第1候補：南部の広い礫浜沿い。氷に閉ざされている場合がある。 第2候補：西部の海岸。使用する場合は、海岸両端のオオフルマカモメの営巣地（閉鎖地区A、B）から距離を置くこと。
閉鎖地区	閉鎖地区A：生物的に多様で脆弱な地域。オオフルマカモメ、ミナミオオセグロカモメ、ヒゲペンギン、ズグロムナジロヒメウの営巣地と、ゾウアザラシの水浴び池を含む。 閉鎖地区B：オオフルマカモメの営巣地。 閉鎖地区C：海岸より上の隆起した地域。オオフルマカモメの営巣地。
ガイド付き徒歩地区	氷河を訪れる訪問者は、少人数のグループで、植生を踏まないよう川床を通行すること。
自由散策地区	訪問者は、監視下で二つの上陸海岸の間に限り自由散策が許されている。閉鎖区域は除く。

*：ここでいう船舶とは、12人以上の乗客を運搬する船に限る。



Turret Point

南緯62度05分 西経57度55分 - キングジョージ島の東端

訪問者の行動規範

陸上での行動

ゆっくり注意深く歩行すること。野生動物から5mの安全間隔を取り、動物に道を譲ること。動物の挙動に変化が見られる時は、距離を置くこと。

営巣中のオオフルマカモメと同じ高さ、あるいはさらに高い位置にいる場合、最低50mの安全距離を取るべきである。鳥の挙動に変化が見られたら、距離を置くこと。

ナンキョクオットセイは攻撃的になることがあるので、近づかないこと。

植生の上を歩かないこと。

注意事項

南極の気象条件はどこでも急に変わりやすいが、この地域はとりわけ急に变化しやすい。



上空からのTurret Point：上陸地区（第1候補）方面



積雪や地表の氷が少ない時は氷河の雪解け流がはっきり見える



サイトに散在する植生

